

新春を迎えて



ようてい農業協同組合
代表理事組合長
金子辰四郎

令和8年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。
組合員の皆様には、ご家族お揃いで清々しい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、JA事業につきまして、組合員や関係機関の皆様には格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、京極小麦乾燥調製施設での事故に関し、組合員の皆様に対しご心配とご迷惑をおかけしましたことについて、お詫び申し上げます。引き続き収束に向けて対応を進めて参りますので、ご理解の程宜しくお願い致します。

昨年の作況を振り返りますと、融雪は4月18日と近年の中では若干遅い融雪となりました。また春耕期にかけては総じて高温傾向で推移したものの、断続的な雨により播種作業が大幅に遅れ、本格的な播種開始はゴールデンウィーク明けとなりました。播種作業の遅れの影響は大きく、組合員の皆様は収穫に大変ご苦労の多い年でありました。

本年の収穫量は、播種時期の天候不良に加え、6月から7月にかけての高温傾向、病害虫の早期化・多発化によりほとんどの品目が昨年を下回る結果となりました。しかし、販売取扱高については計画を上回り、合併以降で過去2番目となる実績を見込んでおります。これも

ひとえに、組合員の皆様の日々のご努力、そしてJAへのご協力とご結果の賜物であり、改めて心より感謝申し上げます。

農業情勢に目を向けますと、昨年の4月に「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、今後5カ年の農業の構造転換や生産基盤強化、食料自給率の向上を目指す方針が示されました。このことは改めて農業が「食料安全保障の確保」や「生産基盤の強化」が国の重要課題であることが位置づけられたものであり、本計画の実行にあたっては、生産者、食品事業者、消費者などの相互理解と連携・協働の下、共に歩んでいくことが重要であり、JAとしても、生産者の生産基盤強化と、消費者への理解促進を図っていくことが肝要と考えます。

そして、一昨年から引き続き、昨年中も米価高騰が続いており、政府は備蓄米を放出するなど、価格安定と供給不安を取り去られた状況が続き、今後も農業者が安心して米を含む様々な農産物が生産できるよう、JAグループ一丸となって取り組んで参ります。

また、JAグループ北海道では、一昨年に開催した第31回JA北海道大会において食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立など3つの議案が決議し、当JAも、この決議事項に即し、ようてい管内の農業が将来に亘って安心して農業を続けることができるよう組合員と役員が一体となって取り組んで参りたい所存であります。

さて、令和8年は第6次農業振興計画・中期経営計画の4年目となります。本年につきましても、農業所得増大に向けて各部門で連携を密にし、組合員の皆様の所得確保に努めて参ります。

結びになりますが、本年が皆様にとつて明るい年であり、豊穰の出来秋を迎えることができますよう、ご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

令和8年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長
樽井 功

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられること存じます。

また、組合員・役員員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも順調に推移していましたが、道内の広範囲において被害が発生した夏場の記録的な豪雨や干ばつにより各作物等の収量および品質に影響が出た一年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、不安基調の継続や国際紛争等に起因する資材価格の高止まりが農業経営に大きな影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えております。

この様な状況の中、昨年7月に実施された参議院議員選挙において、組合員・JA役員員をはじめとする多くの皆様のご支援を

いただき、全国農業者農政運動組織連盟が推薦した東野ひでき氏を国政に送り出すことができました。

この一歩を重要な礎とし、改正基本法により基本理念として位置付けられた、国民一人一人の食料安全保障の確保や環境と調和のとれた食料システムの実現、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員・JAの声を国政に届ける活動を継続してまいります。

JAグループ北海道は、今後とも組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結合力につなげ、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整え、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、本年は午年です。午年はエネルギーと行動力が高まり、挑戦や成長の機会が得られる年とされています。この謂われにあやかり、本年が北海道農業の更なる飛躍の年となることと、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



謹賀新年

代表理事組合長
金子辰四郎

代表理事専務
内尾勝楡

常務理事
辨開浩美

理事
土井信一

今田祐浩

山田建一

横井英樹

田村俊一

芳賀修一

高田 勝

坂爪洋介

湯浅 渉

氣田仁奈

佐々木大輔

原田厚子

森 正和

行天英宏

前田直美

代表監事
武岡光男

常勤監事
渡辺敏章

監事
振 健二

村上拓也

外職員一同